

事業所名

KOPEITO (児童発達支援)

支援プログラム

作成日

令和8年

4月

1日

法人(事業所)理念		「十人十色にかがやくこどもたちのみらいを創造しよう」			
支援方針		こども一人ひとりの尊厳を大切に、ご家族、関係者も含めた事業所スタッフとの信頼関係を構築することを第一に支援の基盤にすることを目指します ①発達の特性や生活環境を丁寧に把握し、安心して過ごせる環境作り ②児童発達支援計画、個別支援計画に基づいた支援を実施し、専門性に基づく根拠のある支援 ③園庭や菜園を活用した活動、感覚遊び、運動支援を取り入れ成長を促す ④理学療法士及び言語聴覚士等の専門的支援と助言を活用します			
営業時間		9時00分から	18時00分まで	送迎実施の有無	あり なし
支援内容					
本人支援	健康・生活	・健康状態や生活リズムに配慮し、安心して過ごせる環境のもとで基本的な生活習慣の形成を支援します ・食事、排泄、休息、身支度等の関わりや支援の取り組みを行い日常生活の安定と自立につなげていきます。 ・利用児に合わせた安全管理と健康観察を行い家庭との情報共有を重視した支援を行います。			
	運動・感覚	・こどもの発達にとって大切な運動機能や感覚を育むのに効果的な園庭や、室内環境を活用し、遊びや運動を通じて身体の使い方や感覚の発達を促します。 ・理学療法士・言語聴覚士等の評価・助言および専門的視点を踏まえ、発達段階に応じた支援を行います。 ・安全に配慮しながら安心して体を動かせる経験を積み重ねる取り組みを行っていきます。			
	認知・行動	・遊びや日常生活の中で見通しをもった行動や課題への取り組みを支援します。 ・こども一人ひとりの特性や理解度に応じてわかりやすいコミュニケーションツールや絵カードを提示するとともに、環境調整も行います。 ・成功体験を積み重ね、安心して行動できる力を育む支援を行います。			
	言語コミュニケーション	・こども一人ひとりの発達段階や特性に応じて気持ちや思いを表現する力を育む支援を行います。 ・遊びや日常生活の中で、言葉や身振り、視線等を用いたやり取りを支援します。 ・言語聴覚士の助言等を踏まえ、安心できる関わりの中でコミュニケーションの基礎を育てます。			
	人間関係社会性	・遊びや日常生活を通じて、友達やスタッフとの関わり方を学び、安心して集団に参加できる力を育みます。 ・一人ひとりの発達段階に応じ、順番・ルール・協力などの基礎的な社会性の習得を支援します。SST(ソーシャルスキルトレーニング)も取り入れます。 ・信頼関係の構築を重視し、家庭や関係機関と連携して生活全体の安定を図ります。			
家族支援		保護者との面談や連絡帳などを活用した情報共有を通じて、家庭での関わり方や育児支援を行います。また、家族での困りごとや発達の課題について相談に応じながら安心して利用していただける環境づくりに努めます。	移行支援	こども一人ひとりの就学や生活環境の変化に向けて児童発達支援計画に基づいた段階的な支援を行います。保護者・園・学校・関係機関と連携しながら安心して次の環境に移行できるように調整を図ります。	
地域支援・地域連携		幼稚園・保育所・学校・医療機関・相談支援専門員等と連携し、こどもの発達や生活に関する情報共有を行います。地域での支援ネットワークを活用し、必要なサービスや行事への参加を支援します。	職員の質の向上	研修計画に基づき、障がい特性・虐待防止・安全管理等の研修を継続して実施します。スタッフ間での共通理解を図り質の高い支援を行います。安心して支援できる体制づくりに努めます。	
主な行事等		・4月：お花見・おみしり会(新しい環境への適応支援)・5月：こどもの日制作活動(創造力と手指の発達支援)・7月：七夕会(願い事制作・感覚遊び)・8月：水遊び週間(感覚統合・暑さ対策)・10月：ハロウィンイベント(仮装・集団活動)・12月：クリスマス会(プレゼント交換・音楽活動)・2月：節分活動(豆まき・感情表現支援)・3月：お別れ会・1年の振り返り(自己肯定感の育成)・その他：法人内の関連施設との交流			